

## 議 事 概 要

会 議 名	令和7年度第3回出水警察署協議会
会 議 日 時	令和8年2月26日（木）午後3時から午後5時
会 議 場 所	出水警察署2階会議室
出 席 者	1 警察署協議会 会長以下8人 2 警察署 署長以下8人
<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 署長挨拶</p> <p>4 協議</p> <p>【諮問・答申】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>諮問 自転車の交通事故防止及びマナー向上方策について</p> <p>自転車は、幼児から高齢者まで幅広い層が様々な用途で利用する身近な交通手段の一つであるが、その反面、全国的にも自転車関連の交通事故が増加傾向にあり、悪質な交通違反も散見されるなど、自転車を取り巻く交通情勢は厳しい状況にある。</p> <p>出水市においても、自転車利用のマナーに関する相談や苦情が寄せられており、この協議会でも度々話題に上がっている。</p> <p>また、今年4月1日からは、自転車の反則通告制度も開始されることから、出水署としても、「自転車の交通事故防止やマナー向上の取組」をさらに強化していかなければならないと考えている。</p> <p>そこで、出水署管内の交通事故の発生状況や警察署の取り組みの状況について説明し、その上で、「こういう活動が効果的だと思う」、「こういう取組や広報をしたらどうか」といった御意見をお聞かせいただきたい。</p> </div> <p>答申</p> <p>（委員） 署の玄関にある、詐欺被害防止の看板がよく目についたため、同様の広報をしてはどうか。</p> <p>学生が多く自転車に乗っているため、学校で事故防止やマナー向上について教室を開いてはどうか。</p>	

(委員) 先日、夜に外国人3人くらいが自転車に乗っているのを見かけたが、ベストタイプの反射材を着ていた。タスキに比べて目立ちやすく、絡まる心配がないという点からも適していると思う。

技能実習生は日本語を理解できない場合が多いため、直接指導していただけるとありがたい。

(委員) 自転車は免許が不要で誰でも乗れるため、ルールを理解していない人もいるのではないかと不安である。職場、学校での交通安全教室は非常に有効であると思う。

(委員) 高齢者による自転車の蛇行運転や高校生がヘルメットを被らずに自転車に乗っているのをよく見かける。通勤・通学の時間帯にパトロールしてもらっただけでも意識が変わると思う。

自転車専用道路を設ける等の措置も必要ではないか。

(委員) 外国人の自転車マナーは向上してるように感じる。

最近では高校生の並走や「ながらスマホ」が目立つため、高校生向けの指導も必要ではないかと思う。

(委員) 学校、地域で意識を高めるため、自転車マナーに関するイベントを実施してはどうか。

自転車を趣味や競技として楽しんでいる人も多いため、関心が高いと思う。

(委員) 駅、スーパーなど自転車を利用する人が立ち寄る場所での広報活動が有効ではないか。

モデル事業所を指定し、取組をメディアで取り上げてみてはいいのではないか。

(委員) 10代の自転車事故が多いため、学校での指導を重点的に行う必要があるのではないかと思う。

ヘルメットの着用や自転車保険の加入など保護者の指導が必要な部分もあるため、関係機関との連携も必要であると思う。

## 【警察行政に対する意見・要望】

### ア 暴走バイクについて

意見：出水から阿久根にかけて昼夜問わず暴走バイクが走行している。

この協議会でも度々議題に上がっているが、改善されておらず、信号無視などの違反も繰り返しているため、取締りをしてもらいたい。

回答：交通違反に関して、できる限り検挙できるよう取締りをしている。

交通違反を見かけた際は情報提供をお願いしたい。

## イ 交通事故での対応について

要望：先日自宅前で、高齢者の交通事故現場に遭遇した。

通報したが、うまく説明できず、混乱してしまった。

事故の影響で他の車も通行することができなくなっていたが、このような場面での対応について伺いたい。

回答：まずは、身の安全を確保し、通報していただきたい。通報の際は、見たまま、ありのままに伝えていただければ良いが、こちらも聴取方法を工夫したい。

## ウ 高齢者の交通事故防止について

意見：先日、高齢者がウインカーを出さずに曲がり、危険だと感じた。

視界が狭くなっている高齢者も多いと思うが、高齢者の事故防止についてはどのような取組を行っているか伺いたい。

回答：例えば、複数回事故を起こしている高齢者には、自宅を訪問し、今後の対策や免許返納についての説明を実施するなどしている。

高齢者が運転する車を見かけた際は、「だろう」運転ではなく、「かもしれない」運転の意識をもちつつ自己防衛運転にも努めていただきたい。

備考	
----	--